

令和7年度 中学生チャレンジテスト（3年生）の概要及び結果

高槻市教育委員会 令和8年1月

実施の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力の状況をつかむことで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育にいかします。
- 生徒が、自分の学習の到達状況を正しく知ることにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高めます。
- 大阪府教育委員会が、テスト結果を使って、大阪府公立高等学校入学者選抜の調査書に記載する評定が、公平性の高いものであるかどうかを確認する資料を作成し、市町村教育委員会と学校に提供します。

実施の概要

- 実施日：令和7年9月2日（火）
- 実施校数及び実施生徒数 中学校 18校 3年生 2,509人
- 学力に関する調査 国語・社会・数学・理科（A、Bから選択）、英語
- 生徒に対するアンケート 11問

調査結果の取扱い

本結果は学力の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないよう十分配慮をお願いします。

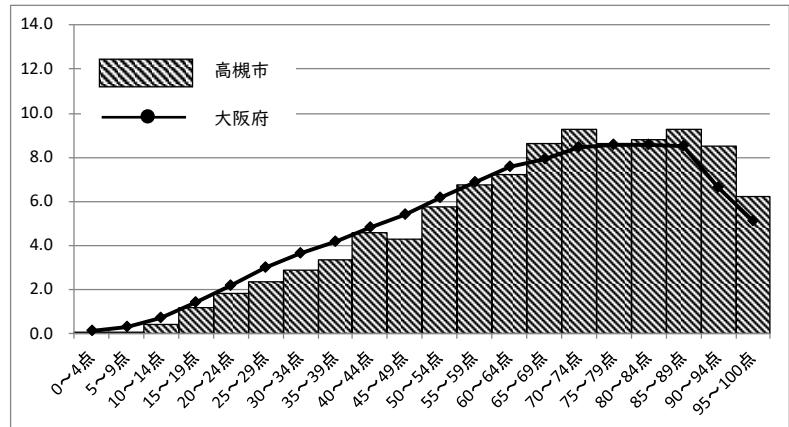
結果については、本実施の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要と考えます。

教科別・平均点比較（対大阪府）

教科	高槻市	大阪府	差（対府）
国語	66.9	64.2	+2.7
社会	53.3	51.2	+2.1
数学	55.8	53.9	+1.9
理科A	48.6	48.1	+0.5
理科B	49.4	46.0	+3.4
英語	58.4	53.2	+5.2

R7 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 国語

	平均点	無解答率
高槻市	66.9	5.9
大阪府	64.2	6.8



I. 分類・区分別集計結果

分類		区分	対象設問数	配点	平均点		
					高槻市	大阪府	
全体			32	100	66.9	64.2	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	8	18	15.5	15.2	
		情報の扱い方に関する事項	3	13	6.9	6.4	
		我が国の言語文化に関する事項	8	25	14.2	13.7	
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	7	24	15.4	14.6	
		書くこと	4	14	10.6	9.9	
		読むこと	9	31	18.1	17.2	
評価の観点		知識・技能	19	56	36.6	35.3	
		思考・判断・表現	20	69	44.1	41.7	
		主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-	
問題形式		選択式	16	51	37.8	36.2	
		短答式	13	35	22.0	21.2	
		記述式	3	14	7.1	6.7	

※ 1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問「三2」

（1）問題の概要

デザインマンホールについての【レポートの下書き】を読み、空欄に入る言葉として適しているものを選択します。

（2）成果

書く内容が明確になるように、文章の構成や役割を考えることができます。

3. 課題が見られた設問 [四6 (2)]

（1）問題の概要

中学校の代表が参加したオンライン会議の【報告の一部】中の空欄に入る内容を書きます。

（2）課題

目的や意図に応じて伝えたいことを、根拠を明確にして話すことには課題が見られます。

（3）授業改善のポイント

目的や意図に応じ、話そうとする内容の根拠が自分の考えを支えるものであるかどうかを検討し、その根拠が確かな事実や事柄に基づいたものであるかを判断することが必要です。授業においては、話の構成を工夫する際には、話の全体を俯瞰して、聞き手を意識した論理の展開を工夫するように指導することが大切です。

6 北中学校の田中さんは、オンライン会議の内容を、後日、生徒会役員会で報告します。あなたが田中さんなどのように話しますか。次の【報告の一部】中の A 、 B に入る内容について、あの(1)、(2)の間に答えるさい。

【報告の一部】

(1) A に入る適切な内容を。【質疑応答の一部】中から二十四字で探し、初めの四字をぬき出しなさい。

(2) B に入る適切な内容を。【各校の取り組みの報告】および【質疑応答の一部】の内容をふまえて、前後の文脈に合わせて十五字以上、三十五字以内で書きなさい。

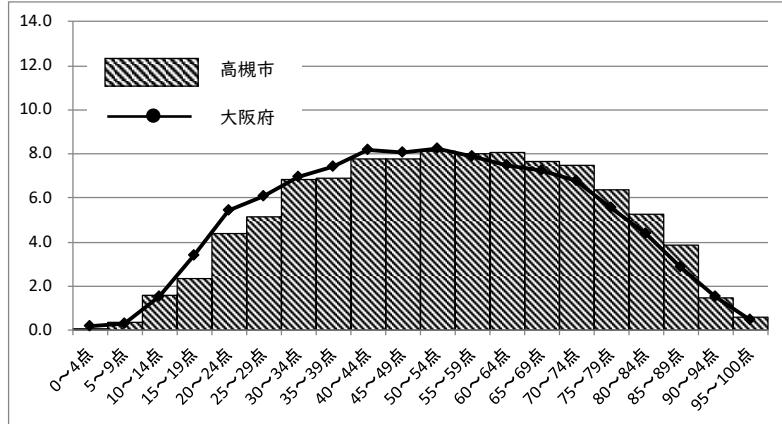
オンライン会議での情報交換で、両中学校では A という工夫をされていることがわかり、興味深かったです。

また、西中学校の報告を聞いて、本校でも取り入れてはどうかと考えたのは、 B ということです。本校でも三学年合同グループの活動は行っていますが、西中学校のような活動を取り入れることで異学年交流がより充実していくのではないかと考えました。

北中学校
田中さん

R7 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 社会

	平均点	無解答率
高槻市	53.3	5.8
大阪府	51.2	6.5



I. 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		39	100	53.3	51.2
学習指導要領の領域	地理的分野	21	55	29.2	28.4
	歴史的分野	18	45	24.1	22.9
評価の観点	知識・技能	27	65	37.8	36.5
	思考・判断・表現	12	35	15.6	14.7
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	30	78	43.4	42.0
	短答式	6	14	8.2	7.8
	記述式	3	8	1.7	1.5

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [I (2)]

(1) 問題の概要

2万5千分の1の地図上の長さに対応する実際の距離を選びます。

(2) 成果

地図における縮尺を正しく理解できます。

3. 課題が見られた設問 [4 (4) ④]

(1) 問題の概要

貨客混載の事業に関する資料をもとに【会話文】中の空欄に入ることばを書きます。

(2) 課題

複数の資料から読み取れる情報をもとに考察し、説明することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

国内の人口分布や過疎問題などの課題解決に向けて、根拠となる複数の資料を多面的・多角的に考察し、構想・表現できるようにすることが重要です。授業において、複数の情報を関連付けたり、比較検討したりしながら、根拠に基づいて合理的・論理的に結論を出すために、説明・議論する力を養うことが大切です。

設問4 (4) ④ (抜粋)

(4) かいさんとりくさんは、北海道の過疎地域において、本来別々に運ばれる人と貨物を一緒に運ぶ「貨客混載」と呼ばれる事業が行われていることに興味をもち、特に路線バスで行われている場合について調べました。2人はこの事業を調べる中で、図7、図8、図9の資料を見つけました。図7は、宅配便貨物を路線バスに載せる貨客混載の例を模式的に示したものです。図8は、全国の路線バスの路線の休止・廃止状況の推移を、図9は、全国の貨物運送運転従事者数と宅配便取扱個数の推移をそれぞれ示したものです。【会話文】を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

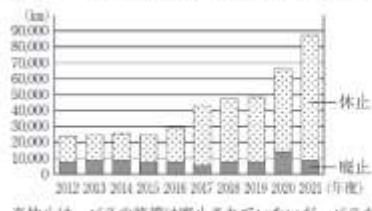
図7 宅配便貨物を路線バスに載せる貨客混載の例



* 貨物集配所：貨物を集めたり、配達したりする業者を行うところ。

(国土交通省の資料などにより作成)

図8 全国の路線バスの路線の休止・廃止状況の推移



※廃止は、バスの路線は廃止されていないが、バスが運行されていない状態をさす。

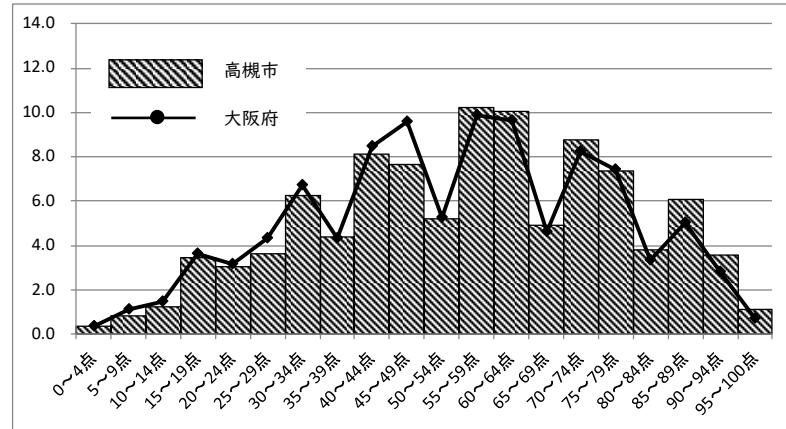
(国土交通省の資料により作成)

りくさん：そうなんだよ。そこで図7のような貨客混載を行うと、A市とB町の間を行き来するトラックが必要なくなるよ。つまり、貨客混載の事業を行なうと宅配便会社は、トラックで輸送していた貨物を路線バスで輸送することで、貨物を運ぶための ④ ことができるね。

問い合わせ 貨客混載の事業を行うことの利点がわかるように、【会話文】中の ④ に入る適切なことばをそれぞれ15字以内で書きなさい。

R7 3年生 チャレンジテスト分析 中学校 数学

	平均点	無解答率
高槻市	55.8	11.2
大阪府	53.9	12.1



I. 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
	全体	33	100	55.8	53.9
学習指導要領の領域	数と式	9	28	16.4	16.0
	図形	9	27	17.4	16.9
	関数	9	27	12.4	11.7
	データの活用	6	18	9.6	9.3
評価の観点	知識・技能	22	67	44.3	43.1
	思考・判断・表現	11	33	11.6	10.8
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	18	54	34.8	33.9
	短答式	12	37	18.8	18.2
	記述式	3	9	2.3	1.8

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [6 (1) ②]

(1) 問題の概要

2つの三角形が合同であることを証明します。

(2) 成果

三角形の合同条件をもとに、すじ道を立てて考え、表現することができています。

3. 課題が見られた設問 [2 (2) (ii)]

(1) 問題の概要

バスケットボールの試合での獲得した点数に着目して、空欄に当てはまる式を求めてください。

(2) 課題

着目した数量の関係から二元一次方程式をつくることに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

具体的な場面において方程式を活用して解決するためには、問題文の中にある数量やその関係から、必要な数量を見つけ、文字を用いた式や数で表すことが重要です。授業においては、複雑な問題を整理し、論理的に解決することができる「思考の道具」として、方程式を活用する利便性や楽しさを感じることができるように取り組むことが大切です。

設問 2 (2) (ii) (抜粋)

(2) 次の問題について考えます。

問題

バスケットボールの試合では、シュートが1本成功することに点数が入ります。3ポイントシュートなら3点、2ポイントシュートなら2点、フリースローなら1点が入ります。3ポイントシュートと2ポイントシュートをまとめてフィールドゴールといいます。

ある試合で、Aチームがフィールドゴールとフリースローで獲得した点数の合計は98点でした。表は、この試合でのAチームのフィールドゴールとフリースローそれぞれについて、全シュート数と成功率の記録をまとめたものです。

表

	全シュート数	成功率
フィールドゴール	80本	45%
フリースロー	20本	65%

表から、この試合でのフリースロー20本のうち、65%の13本が成功したことがわかります。

この試合でのフィールドゴール80本のうち、成功した3ポイントシュートの本数と成功した2ポイントシュートの本数を、それぞれ求めなさい。

この問題を解くために、成功した3ポイントシュートの本数をx本、成功した2ポイントシュートの本数をy本として連立方程式をつくります。

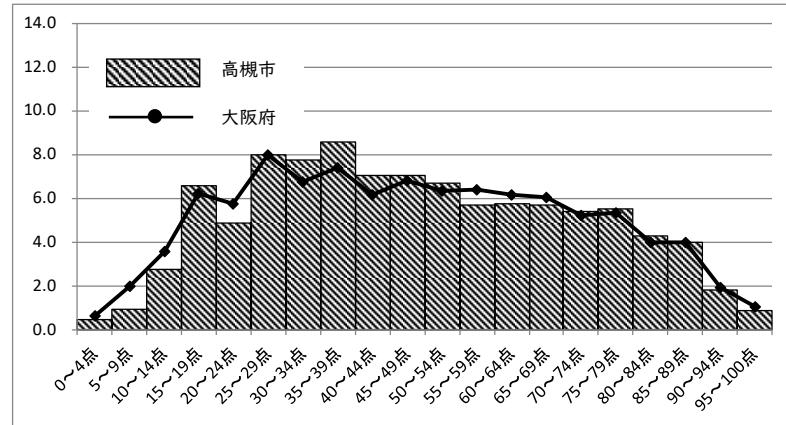
(i), (ii)の問いに答えなさい。

$$\begin{cases} x + y = \boxed{1} & \cdots \text{(1)} \\ \boxed{2} = 98 & \cdots \text{(2)} \end{cases}$$

(ii) (ii)の式は、この試合でAチームがフィールドゴールとフリースローで獲得した点数の合計が98点であることに着目してつくりました。 II に当てはまる式を求めてください。

R7 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 理科A

	平均点	無解答率
高槻市	48.6	9.2
大阪府	48.1	10.0



I. 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
	全体	30	100	48.6	48.1
学習指導要領の領域	「エネルギー」	6	20	8.6	8.4
	「粒子」	12	40	19.1	18.7
	「生命」	6	20	11.5	11.4
	「地球」	6	20	9.5	9.6
評価の観点	知識・技能	17	53	29.9	29.6
	思考・判断・表現	13	47	18.7	18.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	15	48	26.2	26.2
	短答式	13	44	20.0	19.6
	記述式	2	8	2.4	2.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [1 (2) ③]

(1) 問題の概要

ヒトが刺激を受けとてから反応するまでにかかる、1人あたりの時間を計算により求めます。

(2) 成果

ヒトが意識して起こす反応における、刺激を受けとてから反応するまでの時間について考えることができます。

3. 課題が見られた設問 [3 (2)]

(1) 問題の概要

マグマが冷え固まってきた火成岩をすべて選びます。

(2) 課題

火成岩について理解することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

火成岩の学習では、岩石標本を観察する機会などがありますが、どこで、どのようにしてできた岩石か、その過程を知ることが重要です。授業においては、ICTを活用して、シミュレーション映像などで岩石のでき方を調べたり、岩石の名前の由来を調べたりするなど、単に暗記するのではなく、他の知識と関連付けて理解できるように取り組むことが大切です。

設問 3 (2) (抜粋)

③ 地球上にある活火山のうちの約7%が日本にあることを知ったひかるさんは、火山について調べることにしました。(1)~(4)の問い合わせに答えなさい。

【会話1】

ひかるさん：図1には、▲印で火山の位置が示されているよ。日本には多くの火山があるね。



はるかさん：そうだね。日本の火山は、⑤プレートの動きと関係していると学んだよね。

ひかるさん：海洋プレート（海のプレート）が他のプレートの下に沈み込んで地下約100kmから150km程度の深さまで達すると岩石の一部がとけることがあるんだよ。そして火山は、とけた岩石が⑥マグマとなって上昇し、地表付近に達したところにできているのだったね。

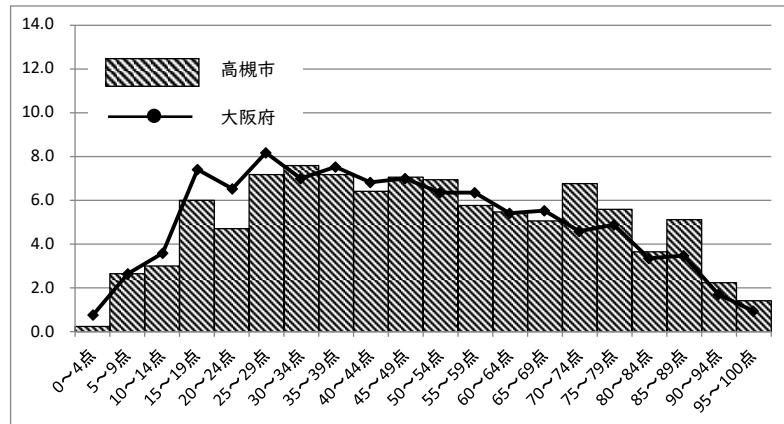
はるかさん：日本付近では、海洋プレート（海のプレート）が他のプレートの下に沈み込んでいるよね。だから、日本には多くの火山があるんだね。

(2) 【会話1】中の下線部⑤について、マグマは冷え固まると火成岩となります。次のア~エのうち、火成岩をすべて選びなさい。

ア せん綠岩 イ 流紋岩 ウ 石灰岩 エ チャート

R7 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 理科B

	平均点	無解答率
高槻市	49.4	9.8
大阪府	46.0	11.0



I. 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
	全体	30	100	49.4	46.0
学習指導要領の領域	「エネルギー」	6	20	8.7	8.1
	「粒子」	6	20	7.9	7.3
	「生命」	12	40	22.8	21.4
	「地球」	6	20	10.0	9.2
評価の観点	知識・技能	17	53	31.7	30.0
	思考・判断・表現	13	47	17.7	16.0
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	15	48	26.2	24.7
	短答式	13	44	20.8	19.1
	記述式	2	8	2.3	2.2

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [I (2) ③]

(1) 問題の概要

ヒトが刺激を受けとてから反応するまでにかかる、1人あたりの時間を計算により求めます。

(2) 成果

ヒトが意識して起こす反応における、刺激を受けとてから反応するまでの時間について考えることができます。

3. 課題が見られた設問 [5 B (2) ① (ii)]

(1) 問題の概要

親の体細胞の染色体から、つくられる卵の染色体と精子の染色体を表したものとして適しているものをそれぞれ選びます。

(2) 課題

減数分裂によって親の染色体が半数ずつ生殖細胞に分配されることを理解することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

減数分裂について、親の体細胞にある染色体数が半数になることを理解し、雌の生殖細胞は卵、雄の生殖細胞は精子であることを理解しておくことが重要です。授業においては、遺伝子のモデルが何を表しているのか確認しながら、遺伝の仕組みを説明できるようにするなど、知識を活用する場面を設定したり、理解したことを確認したりできる場の設定が大切です。

設問 5 B (2) ① (ii) (抜粋)

(2) 次に、かずさんは、有性生殖と無性生殖における子への染色体の受けがれ方のちがいや、遺伝の規則性について調べました。①～③の問い合わせに答えなさい。

① 図2は、有性生殖を行う動物の雌と雄それぞれのからだをつくる細胞(体細胞)の染色体を模式的に表したもので、(i)、(ii)の問い合わせに答えなさい。なお、図2では、からだをつくる細胞(体細胞)の染色体の数を2本(1対)として表しています。

図2

(ii) 図2で表したからだをつくる細胞(体細胞)をもつ雌と雄から生殖細胞がつくられるとき、卵と精子の染色体はそれぞれどのように表されますか。次のア～カのうち、適しているものをそれぞれ1つずつ選びなさい。ただし、同じ記号を2回用いてもよいものとします。

ア

イ

ウ

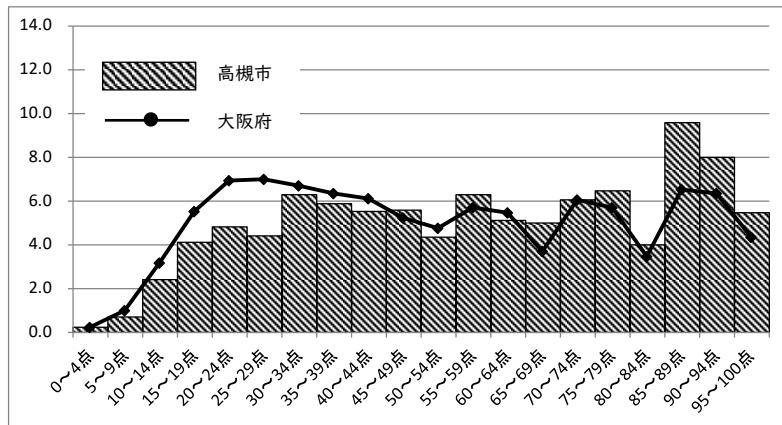
エ

オ

カ

R7 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 英語

	平均点	無解答率
高槻市	58.4	5.9
大阪府	53.2	7.4



I. 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		35	100	58.4	53.2
学習指導要領の領域	聞くこと	10	26	16.9	15.8
	読むこと	11	32	17.8	16.0
	話すこと (やり取り)	-	-	-	-
	話すこと (発表)	-	-	-	-
	書くこと	14	42	23.6	21.4
評価の観点	知識・技能	19	52	31.9	29.1
	思考・判断・表現	16	48	26.5	24.1
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	24	67	42.8	39.6
	短答式	1	3	2.3	2.1
	記述式	10	30	13.3	11.4

※ 1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [8 (2)]

(1) 問題の概要

【手紙】を読み、前後の内容から考えて意味の通る文になるよう [] 内の語を適切に並べかえて英文を完成させます。

(2) 成果

日常的な話題についての手紙を読み、話の概要を捉えることができています。

3. 課題が見られた設問 [3 (3)]

(1) 問題の概要

VRテニス体験についてのポスターを読んだ後、会話を聞き、適切な答えを選びます。

(2) 課題

日常的な話題についてのポスターを「読む」とこと、それについての会話を「聞く」ことの両方から、話の概要と要点を把握することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

知っている知識を使える知識として定着させるために、授業においては、実際のコミュニケーションの場面も意識しながら、読んだことについて話し合ったり、聞いたことについて書いたりするなど、複数の技能を活用しながら身に付けることができるよう取り組むことが大切です。

設問3 (3) (抜粋)

<リスニング原稿>

John: Hi, Akiko. Do you like tennis?
 Akiko: Yes, John. I played it in a tennis club when I was in Japan.
 John: Look at this. There is a unique museum in this city. It's Tennis Museum. In the museum, people can learn many things about tennis. I will go to the museum with my sister next Sunday. Can you go with us?
 Akiko: Yes.
 John: In the morning, my sister and I will learn about tennis in the Museum. Do you want to learn with us?
 Akiko: Sure. I want to learn about tennis. And, we can join this special event there. I want to try it.
 John: Me, too. After lunch at the museum restaurant, let's join the event.
 Akiko: Yes. Will your sister join the event?
 John: No. She will go to the museum shop after lunch. She will not join the event.
 Akiko: After joining the special event, can you go to the museum shop with me? I want to buy presents for my friends.
 John: Yes.
 Akiko: Let's enjoy Tennis Museum next Sunday.
 with me? I want to buy presents for my friends.
 John: Yes.
 Akiko: Let's enjoy Tennis Museum next Sunday.

<設問>

(3) 次のア～エのうち、会話や【ポスター】の内容と合わないものを1つ選びなさい。

ア Akiko likes tennis. She played tennis in a tennis club when she was in Japan.
 イ In Tennis Museum, people can learn many things about tennis, for example, the history of tennis.
 ウ John, his sister and Akiko will learn about tennis in the tennis in the tennis museum together in the morning next Sunday.
 エ Akiko will buy presents for her friends in the museum shop before lunch at the museum restaurant next Sunday.

【リスニング問題】

③ ジョン(John)は、アメリカに留学中のアキコ(Akiko)とテニス博物館(Tennis Museum)のポスターを見ながら話をしています。時間を40秒与えますので、【ポスター】と【質問】を読みなさい。その後、ジョンとアキコの会話が放送されます。それを聞いて、【質問】に答えなさい。では【ポスター】と【質問】を読みなさい。

【ポスター】

Let's Enjoy Tennis Museum!

In Tennis Museum, you will learn many things about tennis, for example, the history of tennis. And you can join a special event. The special event in September is “*VR Tennis Experience.”

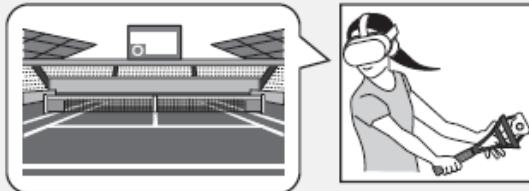
VR Tennis Experience

① Morning VR Tennis Experience: 10:30 ~ 11:30

② Afternoon VR Tennis Experience: 14:00 ~ 15:00

(The *contents of ① and ② are *the same.)

You can play tennis with famous players by using VR. Come to Event Room 5 *minutes before the *starting time of *each VR Tennis Experience *at the latest, please.



*Fee

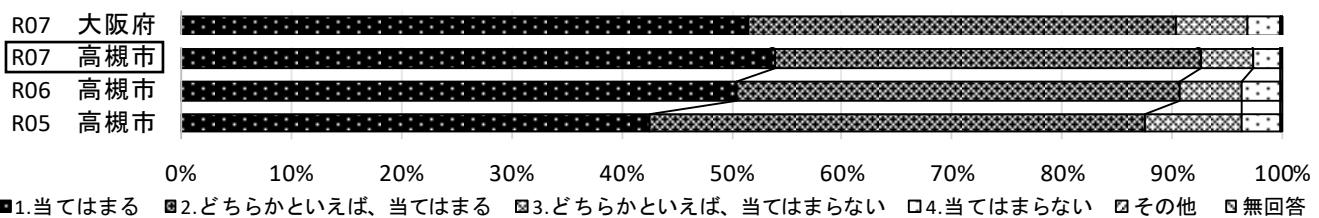
*Age	*Admission	Special Event
16 years old ~	10*dollars	7 dollars
6 years old ~ 15 years old	5 dollars	

*Opening Hours

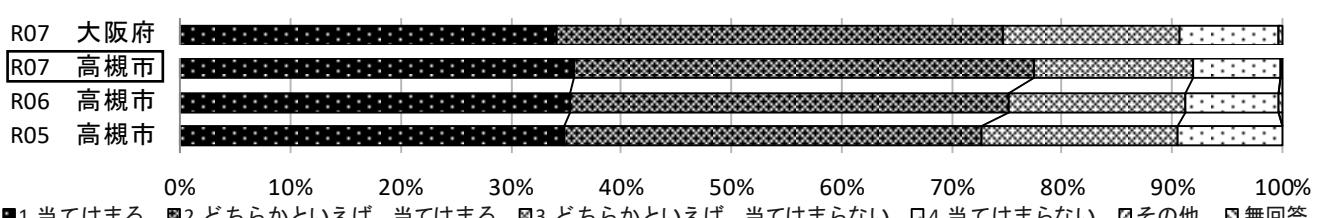
Museum	10:00 ~ 17:00
Museum Shop	10:00 ~ 16:00
Museum Restaurant	11:30 ~ 14:00

(注) VR virtual reality(仮想現実)の略であり、コンピューターを用いて人工的な環境を作り出し、まるで本当に体験しているかのように感じさせる技術
content 内容 the same 同じもの ~ minutes before ... …の～分前に
starting time 開始時間 each それぞれの at the latest 遅くとも
fee 料金 age 年齢 admission 入館料 dollar ドル(通貨の単位)
opening hours 営業時間

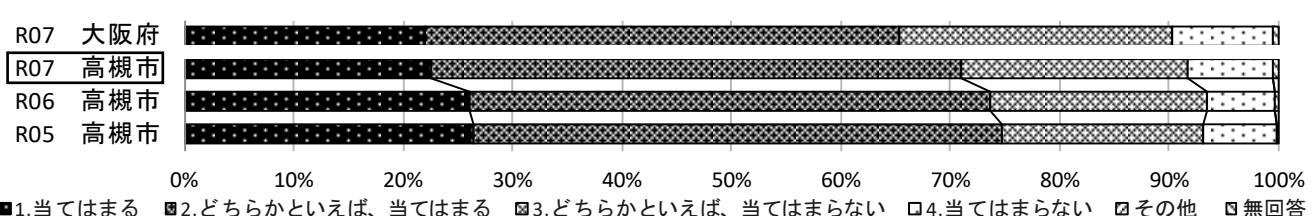
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



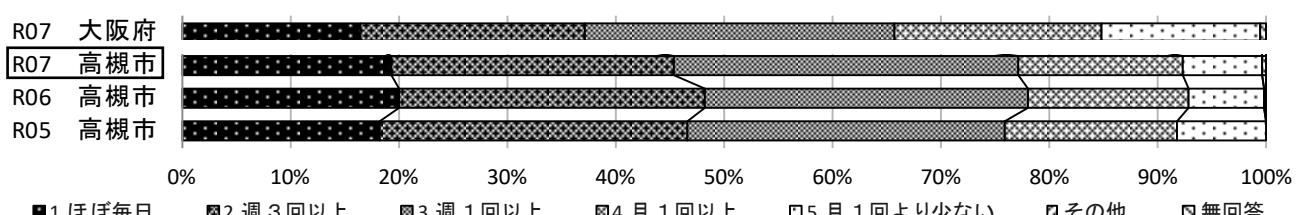
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



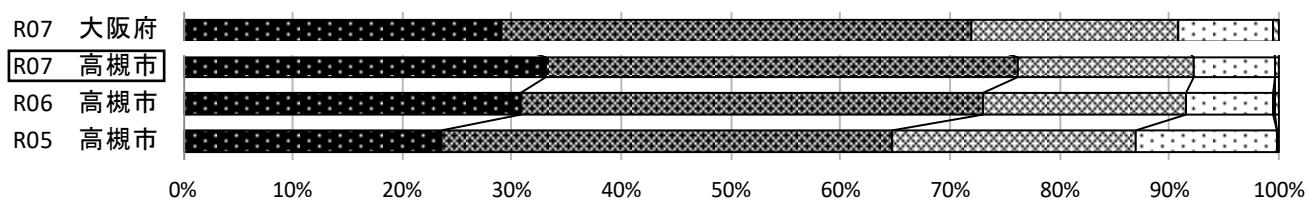
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



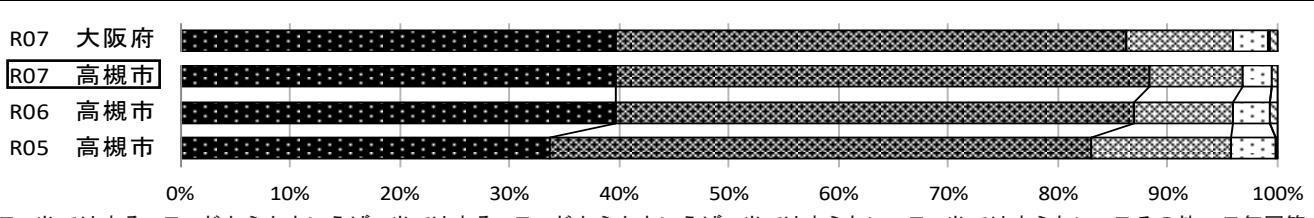
4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



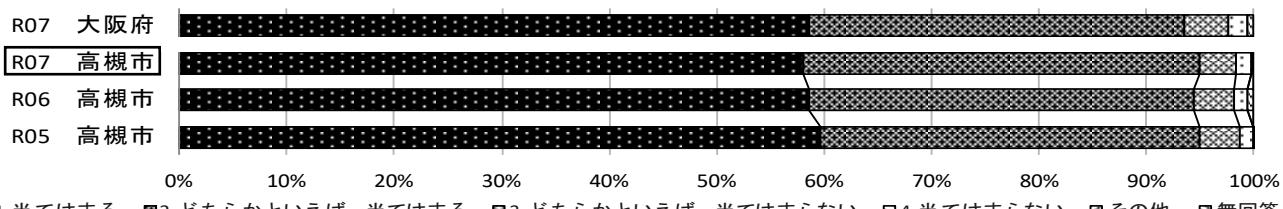
5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



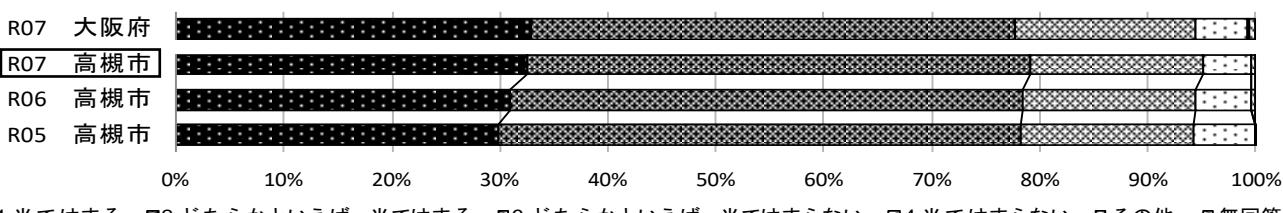
6. あなたの学級は、違った考え方や意見を受け入れる雰囲気がある。



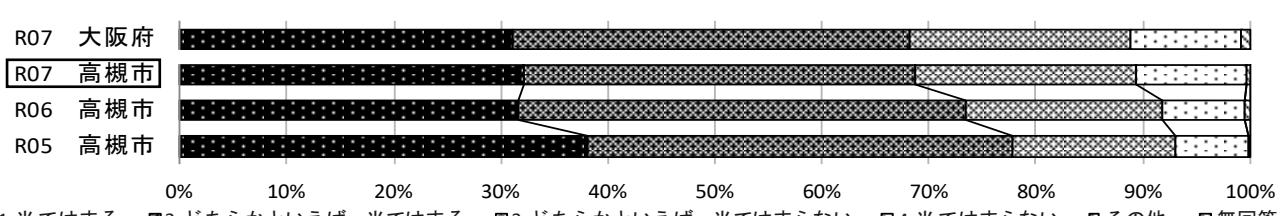
7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



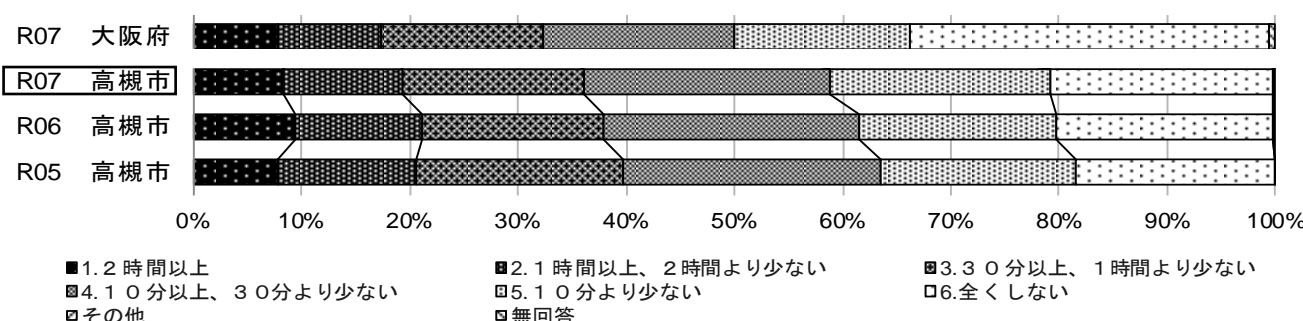
8. 難しいことがあっても、あきらめない。



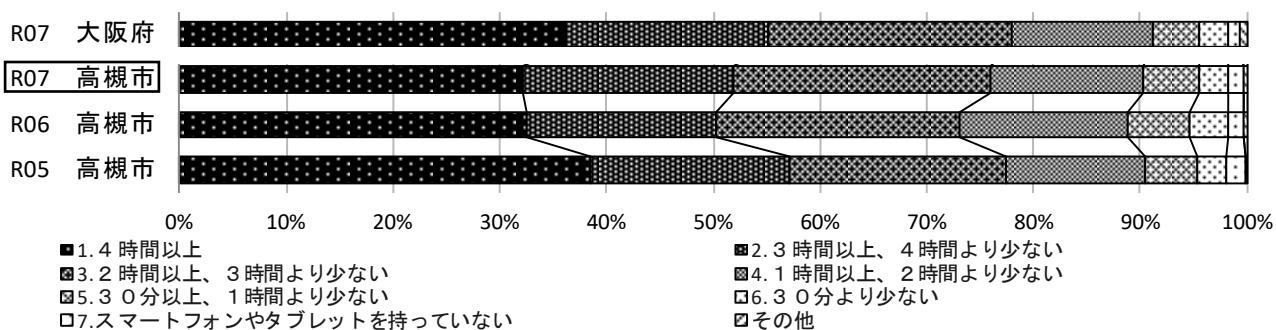
9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



10. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか。



11. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



【生徒に対するアンケートの結果について】

多くの項目（設問1, 2, 5, 6, 8）で、学年が上がるとともに肯定的答に増加傾向が見られ、自分で学習の仕方を工夫しながら、粘り強く学ぶ姿勢が身に付いていることがうかがえます。一方で、社会的な出来事に関するニュースを見たり（設問9）、本を読んだり（設問10）している割合は減少傾向にあります。生徒が豊かな読書習慣を身に付けることができるよう学校図書館を活用した取組や、社会の課題や日常生活と、教科の学習内容を結び付けて指導するなど、生徒の学ぶ意欲を育むための取組を推進します。